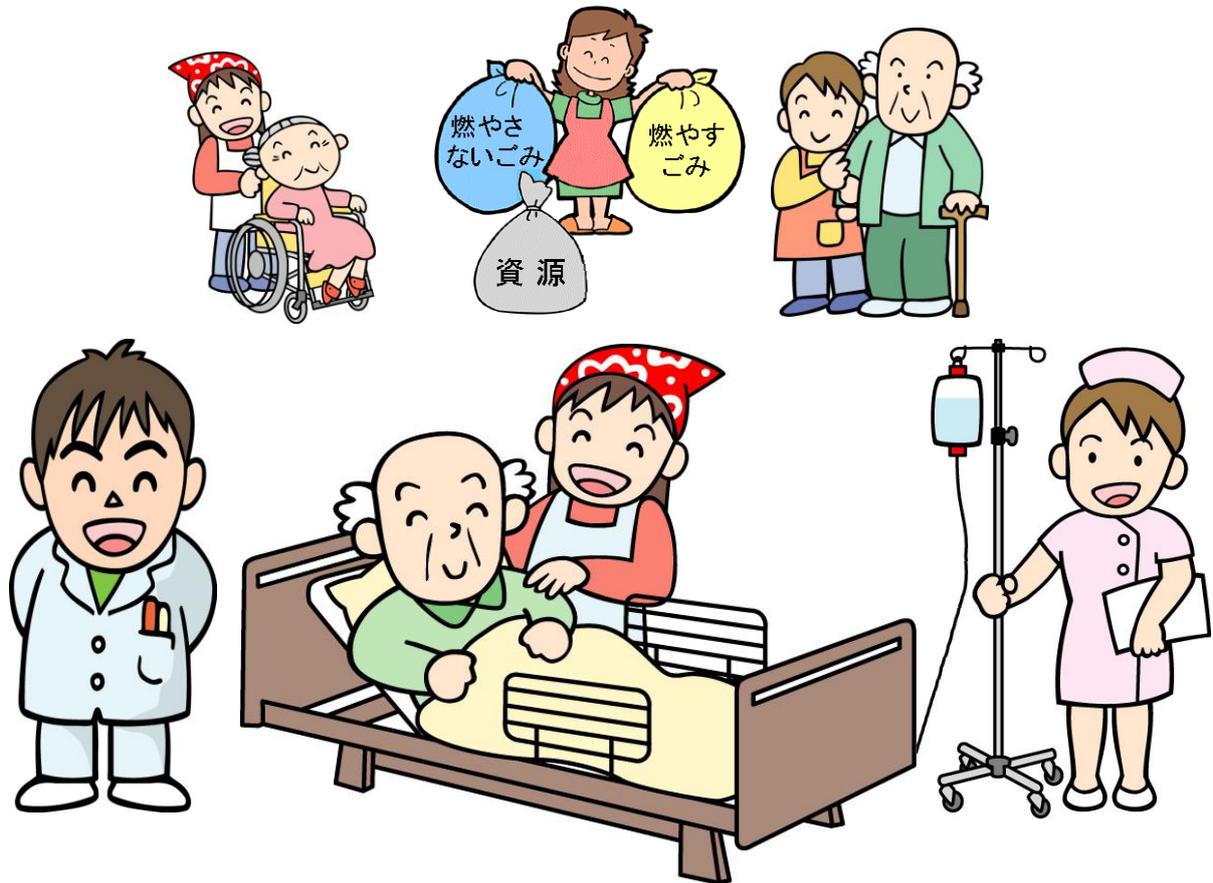


家庭から出される医療廃棄物の処理方法



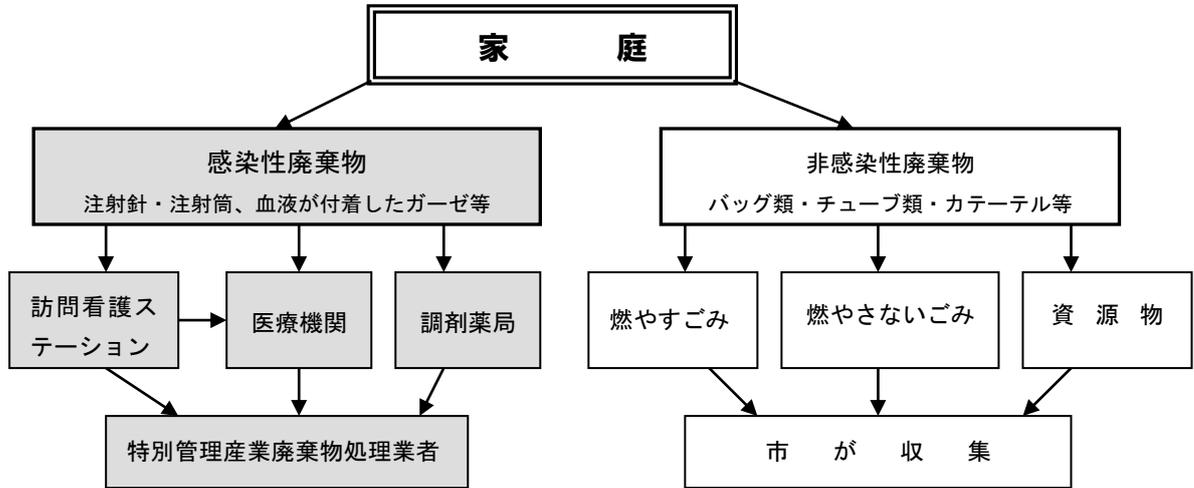
近年、在宅での医療行為が増えてきており、注射器や点滴バッグなどの廃棄物の処理方法についてのお問い合わせが多く寄せられるようになりました。

そのため、家庭から出される医療廃棄物を適正に処理するためのマニュアルを医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションなどの御協力を得て作成しました。

このマニュアルを御覧いただき安全で衛生的な処理に御協力くださるようお願いいたします。

「家庭から出される医療廃棄物を処理するフロー図」

使用済み注射針等の感染性廃棄物は、処方した医療機関（病院・診療所）、調剤薬局または訪問看護ステーションへ返却することとしており、その他の感染性の危険がないものは、市でごみまたは資源物として収集します。



医療機関・調剤薬局・訪問看護ステーションに戻せるもの

区分	廃棄物の種類(例示)	写真番号	廃棄先	廃棄の方法
針・注射器	注射針・注射筒(シリンジ)	①	ア 往診医や訪問看護師が持ち帰る。 イ 処方した医療機関、調剤薬局または訪問看護ステーションへ戻す。	針部は、針刺しの危険を防ぐため、かん、びん、プラスチック製などの丈夫な容器に入れる。
	インスリン用注射針	②		
	ペン型インスリン注射器	③		
	穿刺(せんし)針(血糖値測定用)	④		
	翼状針	⑤		
	点滴針(輸液ラインと切り離す)	⑥		
カテーテル	ぼうこう留置カテーテル	⑦		



①注射針・注射筒(シリンジ)



②インスリン用注射針



③ペン型インスリン注射器



④穿刺(せんし)針(血糖値測定用)



⑤翼状針



⑥点滴針(輸液ラインと切り離す)



⑦ぼうこう留置カテーテル

ごみとして市の収集日に出せるもの

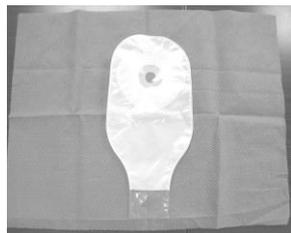
区 分	廃棄物の種類(例示)	写真番号	廃棄の区分	廃棄の方法
バ ッ グ 類	ストーマ装具	⑧	燃 や す ご み ※資源物とならないプラスチック製品は、本来燃やさないごみですが、 <u>医療廃棄物は、衛生的に処理するため燃やすごみで出すこととしていません。</u>	ア 必ず針部を切り離す。 イ 中身は空にする。 ウ 汚物はトイレに捨てる。 エ 新聞紙などで包み、さらにポリ袋に入れてから、燃やすごみ用の指定ごみ袋(黄色)に入れて出す。 ※ 血液の付着しているものは、処置後に往診医、訪問看護師が持ち帰る。
	蓄尿バッグ(導入チューブを含む)	⑨		
	CAPD(腹膜透析) 排液バッグ(チューブを含む)	⑩		
輸 液 ラ イ ン	輸液ライン(針部を除く)	⑪		
	点滴ライン(針部を除く)	⑪		
カ テ ー テ ル 類	自己導尿カテーテル	⑫		
	気管内吸引チューブ			
	口腔内吸引チューブ			
布 ・ 紙 類 等	ガーゼ類(血液の付着なし)	⑬	燃 や さ ない ご み	中身を空にして燃やさないごみ用の指定袋(青色)に入れて出す。
	脱脂綿類(血液の付着なし)			
	手袋、紙おむつ(感染性疾患に罹患していない場合)			
び ん	薬用・錠剤びん	⑭		
	ガラス製点滴ボトル	⑭		

燃 や す ご み

燃やすごみ用の指定ごみ袋(黄色)での出し方



小樽市指定ごみ袋(黄色)



⑧ストーマ装具



⑨蓄尿バッグ(導入チューブを含む)



a 中身は空にする。汚物はトイレに捨てる。新聞紙などで小さくくむ。



b さらにポリ袋に入れ、口を閉じる。



c 燃やすごみ用の指定ごみ袋(黄色)に他の燃やすごみと一緒に入れる。



⑩CAPD(腹膜透析)用排液バッグ(チューブを含む)



⑪輸液ライン・点滴ライン(針部を除く)



⑫カテーテル類(ぼうこう留置カテーテルを除く)

燃 や さ ない ご み



小樽市指定ごみ袋(青色)



⑬薬用・錠剤びん



⑭ガラス製点滴ボトル



資源物として市の収集日に出せるもの

区分	廃棄物の種類(例示)	写真番号	排出の区分	排出の方法
バッグ類	点滴ボトル	⑮	資源物(プラ類) ♻️マークを確認し プラ類の日にプラス チック製容器包装で 出す。	バッグ類は、輸液・点滴ライン のチューブと切り離し、中身を 空にして水気を切って出す。 錠剤シートは、錠剤が残ってい ないことを確かめて出す。
	点滴バッグ	⑯		
	CAPD(腹膜透析)用輸液 バッグ	⑰		
錠剤シート	プラスチック製錠剤シート	⑱	資源物(かん等)	中身を空にしてすすいで出す。
かん類	経管栄養剤かん	⑲		



⑮点滴ボトル



⑯点滴バッグ



⑰CAPD(腹膜透析)用
輸液バッグ



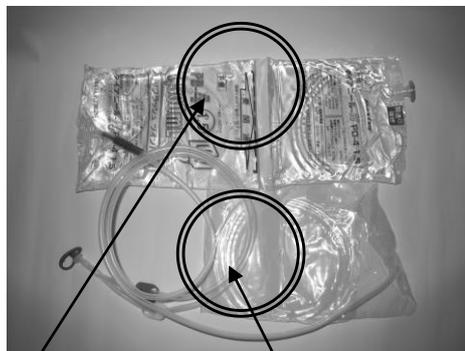
⑱プラスチック製
錠剤シート



⑲経管栄養剤かん

複合廃棄物の分け方・出し方

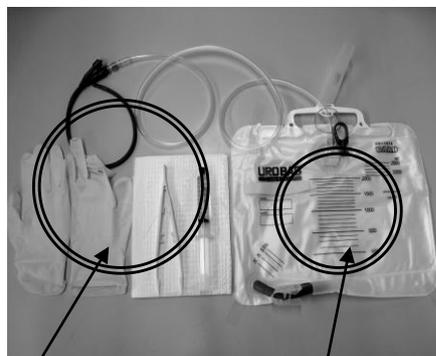
CAPD(腹膜透析)セット



輸液バッグは、輸液ラインのチューブと切り離し空にして水気を切って資源物(プラスチック製容器包装)で出す。

チューブ、排液バッグは燃やすごみ袋(黄色)で出す。

ぼうこう留置用導尿カテーテルセット



ぼうこう留置カテーテル、シリンジ、セッシ、シート、手袋等は患者宅を訪問した医療機関等が持ち帰る。

蓄尿バッグは燃やすごみ袋(黄色)で出す。

輸液ライン・点滴ライン



輸液ライン・点滴ラインは燃やすごみ袋(黄色)で出す。とがった差込口に注意する。

針・血液付着部分は医療機関等に戻す。

御相談・お問い合わせ

市外に通院しているなどの理由で医療機関等に注射針等を戻せない場合は御相談ください。また、医療廃棄物の出し方で御不明な点がありましたらお問い合わせください。

小樽市 生活環境部 廃棄物対策課 電話 0134-32-4111 内線 323
 【FAX】0134-32-5032
 廃棄物事業所 電話 (FAX 兼用) 0134-22-8141